

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 廿日市市公共交通協議会
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)廿日市カープタクシー	阿品台ルート	モビリーデイズの導入後、使い方説明会を要望のあった地域や地区では継続的に実施し、利用者の増加に取り組んだ。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B ①年間延べ利用者数 実績55,742人 ※目標未達成 (目標57,700人 達成率96.6%) ②財政支出額 実績6,478千円 ※目標達成 (目標20,381千円以下 達成率314.6%) ③収支率 実績55.0% ※目標達成 (目標13.0%以上 達成率423.1%)	利用者は昨年と比べても増加傾向にあるが目標未達成となった。利用者に向けてモビリーデイズによる広電との共通定期券制度の周知などを行い、引き続き利用者数の増加に向けて事業を継続する。 また、モビリーデイズの導入により、ODデータの取得が可能になったことから、利用実態の分析を行っていく。
	宮内ルート	モビリーデイズの導入後、使い方説明会を要望のあった地域や地区では継続的に実施し、利用者の増加に取り組んだ。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A ①年間延べ利用者数 実績39,757人 ※目標達成 (目標27,800人 達成率143.0%) ②財政支出額 実績3,341千円 ※目標達成 (目標19,864千円以下 達成率238.1%) ③収支率 実績38.7% ※目標達成 (目標13.0%以上 達成率297.9%)	全項目において目標を達成しており、次年度以降も同様に事業を継続していく。また、モビリーデイズの導入により、ODデータの取得が可能になったことから、利用実態の分析を行っていく。
廿日市交通(株)	原ルート	モビリーデイズの導入後、使い方説明会を要望のあった地域や地区では継続的に実施し、利用者の増加に取り組んだ。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B ①年間延べ利用者数 実績36,387人 ※目標達成 (目標32,900人 達成率110.5%) ②財政支出額 実績34,291千円 ※目標未達成 (目標18,661千円以下 達成率54.4%) ③収支率 実績14.3% ※目標未達成 (目標18.2%以上 達成率78.6%)	利用者数については、目標を達成しているが、財政支出や収支率については、目標未達成であることから、次年度以降は財政支出額や収支率を注視しながら事業を継続していく。また、モビリーデイズの導入により、ODデータの取得が可能になったことから、利用実態の分析を行っていく。
佐伯交通有限会社	玖島・友和線	民生委員の代表が集まる場において、デマンドバスの使い方を含めた中山間地域における公共交通の説明会を実施し、PRを実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B ①年間延べ利用者数 1,525人 ※目標達成 (目標1,062人 達成率143.5%) ②財政支出額 実績2,940千円 ※目標未達成 (目標2,866千円以下 達成率97.4%) ③収支率 実績4.3% ※目標未達成 (目標5.95%以上 達成率72.2%)	利用者数については、目標を達成しているが、財政支出や収支率については、目標未達成であることから、次年度以降は財政支出額及び収支率を注視しながら事業を継続していく。
	所山線	民生委員の代表が集まる場において、デマンドバスの使い方を含めた中山間地域における公共交通の説明会を実施し、PRを実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A ①年間延べ利用者数 121人 ※目標達成 (目標116人 達成率104.3%) ②財政支出額 実績365千円 ※目標達成 (目標1,488千円以下 達成率407.6%) ③収支率 実績12.9% ※目標達成 (目標4.25%以上 達成率303.5%)	全項目において目標を達成しており、次年度以降も同様に事業を継続していく。
有限会社津田交通	浅原線	民生委員の代表が集まる場において、デマンドバスの使い方を含めた中山間地域における公共交通の説明会を実施し、PRを実施した。 地域から区域運行のエリア拡大の要望があり、R7.10月に再編を実施し対応している。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B ①年間延べ利用者数 1,131人 ※目標未達成 (目標1,283人 達成率88.1%) ②財政支出額 実績3,879千円 ※目標未達成 (目標2,477千円以下 達成率63.8%) ③収支率 実績5.2% ※目標達成 (目標3.05%以上 達成率170.4%)	R7.10月で浅原線のダイヤ改正を実施し、これまで運行していなかった商業施設まで運行することとなり、利用者の利便性が向上している。 再編後の利用者数を注視するとともに、引き続き、デマンドバスの周知を行い、未達成項目である利用者数及び財政支出額の目標達成に結びつけていく。
	中道・栗栖線	民生委員の代表が集まる場において、デマンドバスの使い方を含めた中山間地域における公共交通の説明会を実施し、PRを実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B ①年間延べ利用者数 222人 ※目標未達成 (目標266人 達成率83.4%) ②財政支出額 実績1,675千円 ※目標未達成 (目標1,127千円以下 達成率67.2%) ③収支率 実績2.0% ※目標達成 (目標1.0%以上 達成率200.0%)	収支率については、目標を達成しているが、利用者数や財政支出額については、未達成であることから、次年度以降は利用者数及び財政支出額を注視しながら事業を継続していく。
NPO法人ほっと吉和	吉和線	NPOと協議をしながら引き続き運行形態の最適化を模索中。路線定期運行における利用者数の少ない便等の減便も視野に入れるなど具体的な内容を検討している。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A ①年間延べ利用者数 1,804人 ※目標達成 (目標786人 達成率229.5%) ②財政支出額 実績1,225千円 ※目標達成 (目標1,461千円以下 達成率119.2%) ③収支率 実績14.1% ※目標達成 (目標9.5%以上 達成率148.4%)	全項目において目標を達成しており、次年度以降も同様に事業を継続していく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

協議会名：	廿日市市公共交通協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>廿日市市は広島県の西部に位置しており、平成15年と平成17年の2度の合併により、南は瀬戸内海に浮かぶ宮島から北は中国山地に位置する吉和までを市域とする広域な市となった。</p> <p>そうしたなか、急速な少子高齢化の進展や人口減少、マイカー利用を前提とした生活スタイルの定着等により、都市部での公共交通の利用は減少傾向にあり、その維持存続が困難な状況が発生している。一方で、中山間部、島しょ部では高齢化が進み、マイカーを自由に利用できない高齢者、通学者等を中心に、公共交通の必要性は高まりつつあり、持続可能な移動手段を確保・維持することが不可欠である。さらには、交通事業者の慢性的な運転手不足問題等もあり、公共交通事業者の存続自体も危ぶまれる状況も発生している。</p> <p>地域住民の生活圏は地域内に留まらず、通勤・通学・通院等で廿日市市街方面まで及ぶことから、交通結節点においては廿日市市街への移動を担う幹線と有機的に結びつける必要がある。地域公共交通のブラッシュアップを行うことで、利用者にとって、わかりやすく利用しやすい公共交通ネットワークの構築を目指していく。</p>